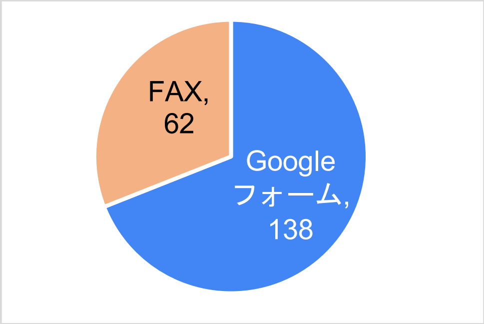
「コロナ禍での対応状況調査・Web研修環境調査」アンケート集計結果

平素より当会の活動に参加・ご協力いただき心より感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う、地域での感染症状況の変化に対応しながら日々ケアマネ業務に尽力されている皆様に心より敬意を表します。また、お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。ここに集計結果をご報告いたします。　　　　　　　　　　【調査研究委員会】

≪調査概要≫

調査対象／当会会員　1,250 名
調査期間／令和３年１月 27 日～２月 19 日
調査方法／当会広報誌に同封・当会ＨＰで公開・周知
回答方法／グーグルフォームでのオンライン回答及びＦＡＸ回答
回答数／200 件（16.1％）
　　　　グーグルフォーム（138 件）・ＦＡＸ（62件）

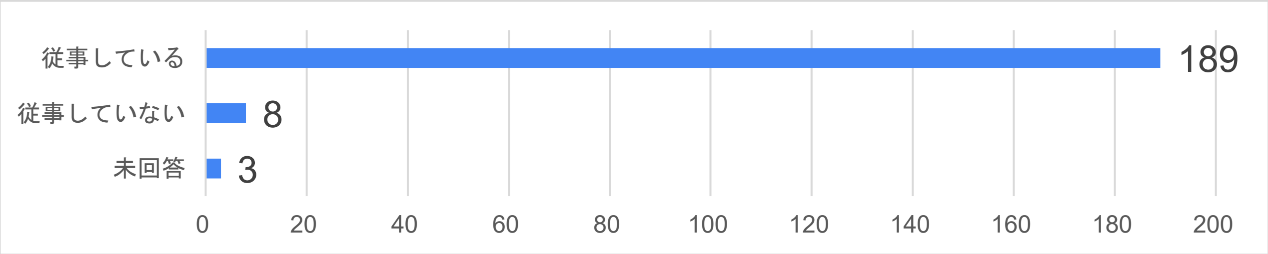


≪集計結果≫

■あなたについてお聞きします。

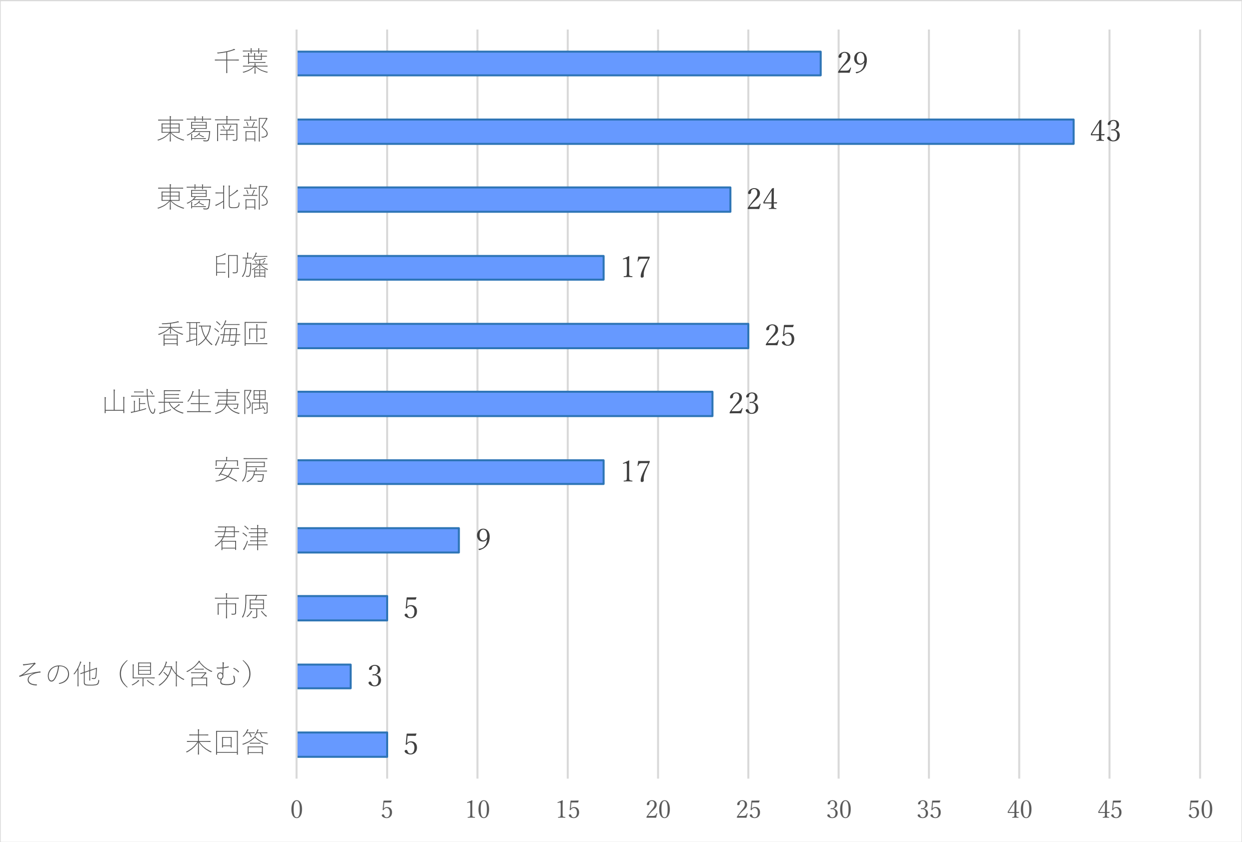
Q1.現在、介護支援専門員として従事していますか。

N=200



	人数			
	Google フォーム	FAX	全体	%
従事している	128	61	189	94.5
従事していない	7	1	8	4.0
未回答	3	0	3	1.5
計	138	62	200	

Q２.あなたの主な活動地域（従事していない方は居住地）を教えてください。
市町村名（　　　　　　　　　　　　）



圏　　　域	人数
千葉	29
東葛南部	43
東葛北部	24
印旛	17
香取海匝	25
山武長生夷隅	23
安房	17
君津	9
市原	5
その他(県外含む)	3
未回答	5
計	200

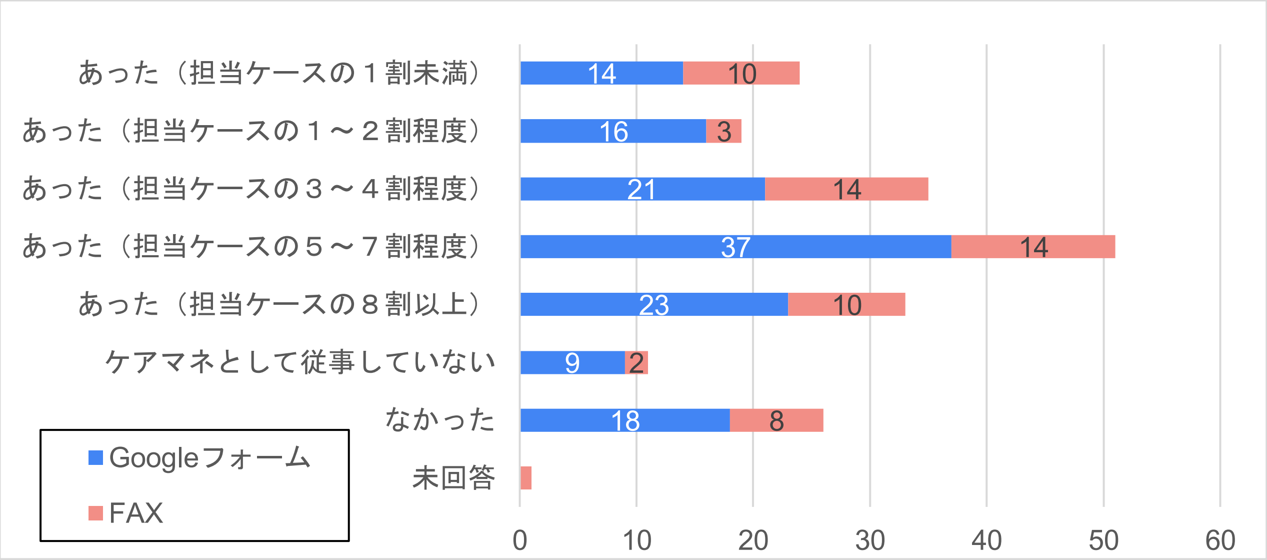
コロナ禍での対応状況調査 ※令和２年１月～現在までのあなた自身の対応についてお聞きします。

<u>※厚労省から発出された臨時的な取扱い</u>とは以下を指します。
「新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所の人員基準等の臨時的な取扱いについて」

■サービス担当者会議の開催についてお聞きします。

<u>Q３. 厚労省から発出された「臨時的な取扱い」※に沿って、電話やメールで対応したケースがありましたか。</u>

N=200



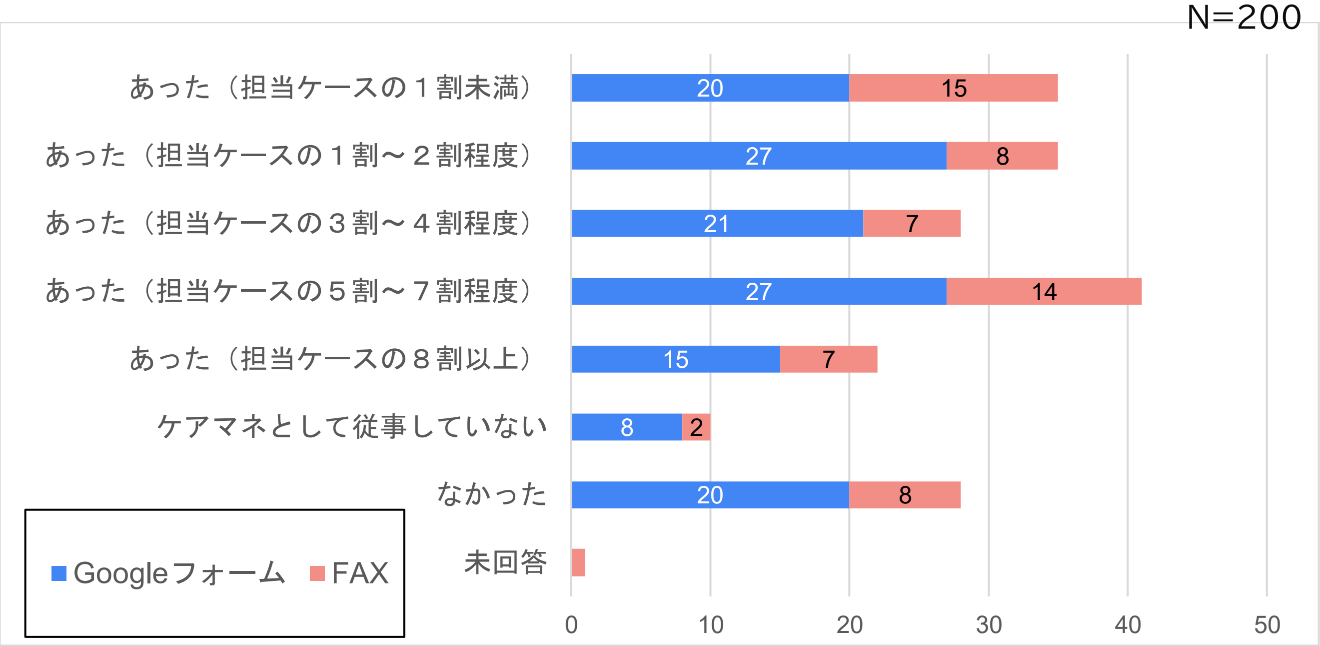
	Gフォーム	FAX	全体	%
あった(担当ケースの1割未満)	14	10	24	12.0
あった(担当ケースの1～2割程度)	16	3	19	9.5
あった(担当ケースの3～4割程度)	21	14	35	17.5
あった(担当ケースの5～7割程度)	37	14	51	25.5
あった(担当ケースの8割以上)	23	10	33	16.5
ケアマネとして従事していない	9	2	11	5.5
なかった	18	8	26	13.0
未回答	0	1	1	0.5
計	138	62	200	

電話やメールで対応したケースが<u>なかった</u>割合は、13%程度であり、逆に <u>8 割以上</u>のケースで対応した方は 16%強、また、<u>3~4 割程度</u>と <u>5 割~7 割程度</u>を合わせると 40%を越えた。

■**モニタリング**についてお聞きします。

Q4．厚労省から発出された「臨時的な取扱い」※に沿って、訪問を行わなかったケースがありましたか。

N=200



	G フォーム	FAX	全体	%
あった（担当ケースの1割未満）	20	15	35	17.5
あった（担当ケースの1割～2割程度）	27	8	35	17.5
あった（担当ケースの3割～4割程度）	21	7	28	14.0
あった（担当ケースの5割～7割程度）	27	14	41	20.5
あった（担当ケースの8割以上）	15	7	22	11.0
ケアマネとして従事していない	8	2	10	5.0
なかった	20	8	28	14.0
未回答	0	1	1	0.5
計	138	62	200	

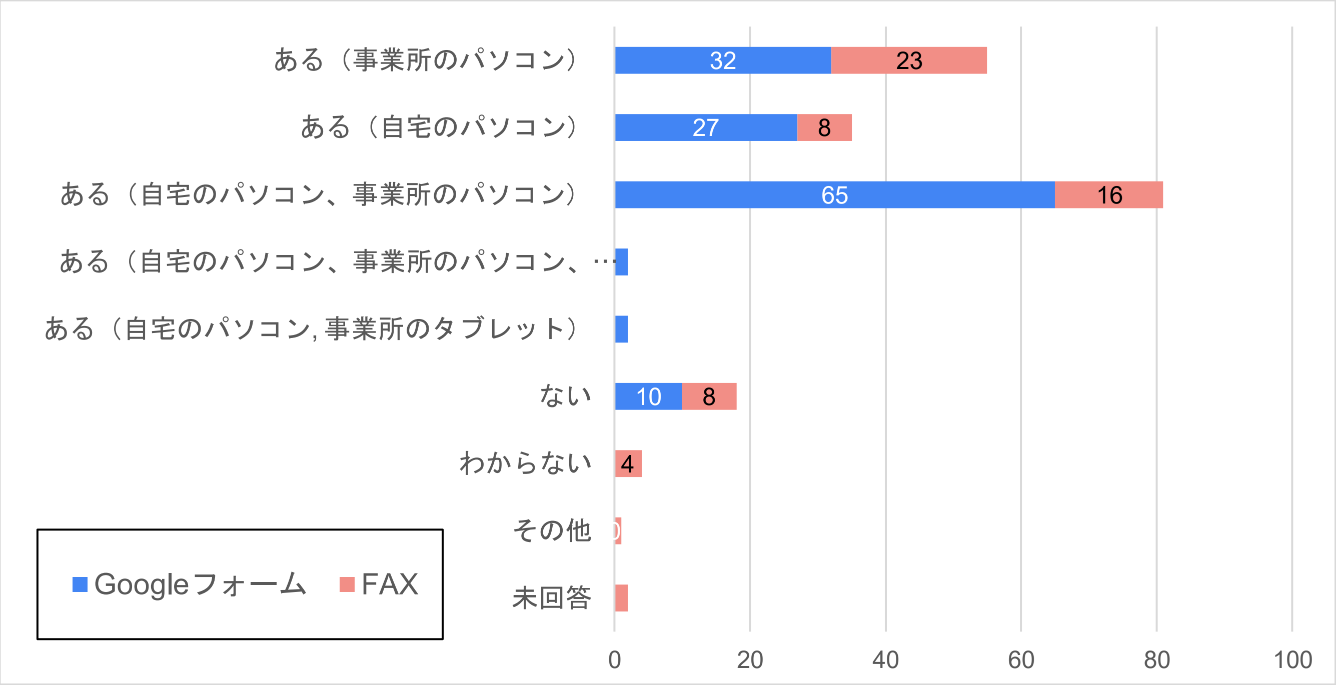
訪問を行わなかったケースが**５割～７割程度**と**８割以上**を合わせると 30%を越え、一方、訪問した（**「なかった」**回答）ケースは 14%であった。

厚労省の通知を実践するのは、一人ひとりのケアマネジャーであり、対応は担当する利用者や活動する地域の状況によって様々であると考える。自由記載の中でも、ICT 活用によるモニタリングの実際・利用者宅に訪問をしなくても「良い」と判断した「内容」とその「期間」等について具体的に知りたいという要望があった。地域のケアマネジャーの横の連携強化をしつつ、今後のコロナウイルス感染症に対する厚労省等の通知をいち早く把握し、現場に生かせる様、当会としても一層の情報発信を継続していく必要がある。

Web研修環境調査 ※あなた自身のWeb環境についてお聞きします。

Q5. 研修受講用に使用できるパソコンはありますか。

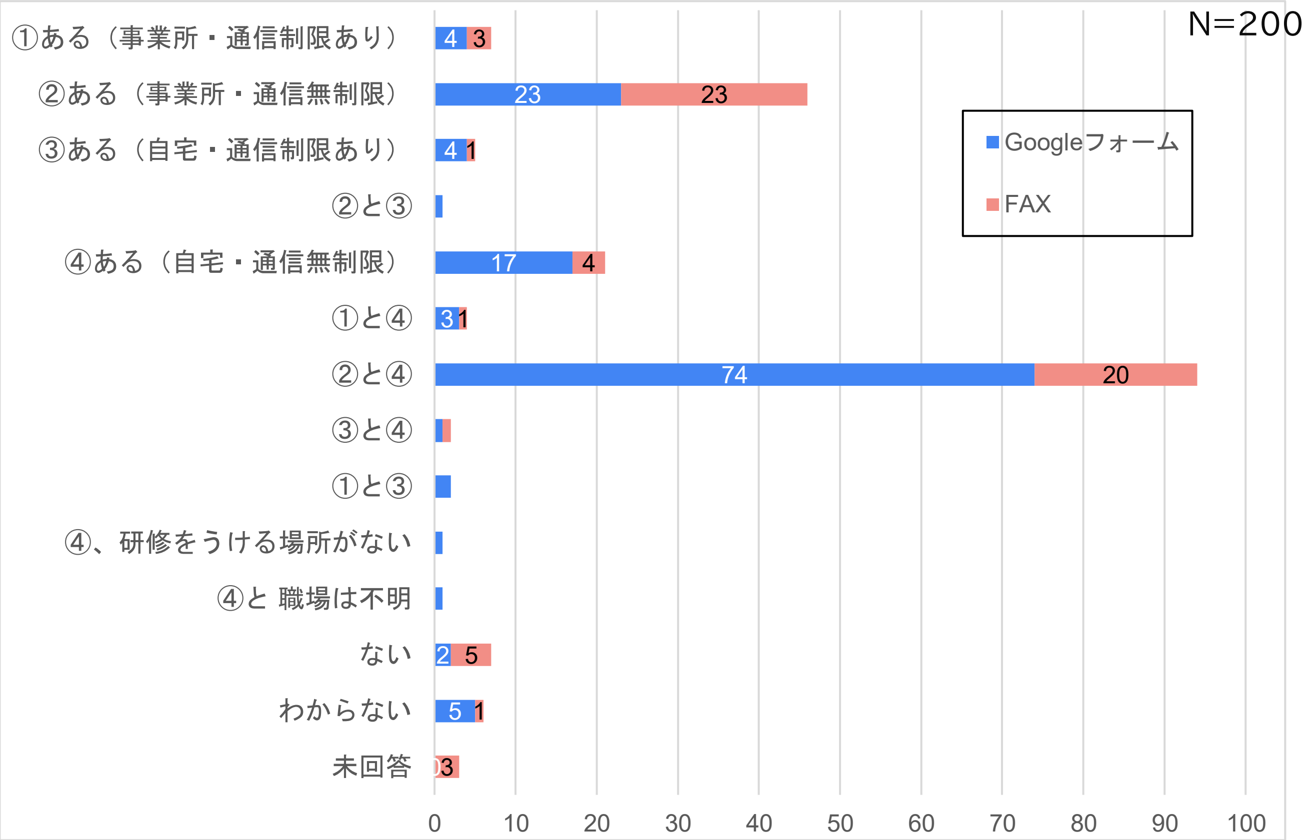
N=200



	Gフォーム	FAX	全体	%
ある(事業所のパソコン)	32	23	55	27.5
ある(自宅のパソコン)	27	8	35	17.5
ある(自宅のパソコン、事業所のパソコン)	65	16	81	40.5
ある(自宅のパソコン、事業所のパソコン、 携帯)	2	0	2	1.0
ある(自宅のパソコン, 事業所のタブレット)	2	0	2	1.0
ない	10	8	18	9.0
わからない	0	4	4	2.0
その他	0	1	1	0.5
未回答	0	2	2	1.0
計	138	62	200	

事業所または自宅(両方含む)に研修受講に使えるパソコンが**ある**との回答は 175 名で全体の9割に近い。ほとんどの方に受講環境が整っているように感じるが、Q6 では通信**制限がある**と回答した数は少なくなかった。長時間、大人数の研修受講には通信「無制限」の環境が望ましい。

Ｑ６．研修受講に使用できるインターネット環境はありますか。

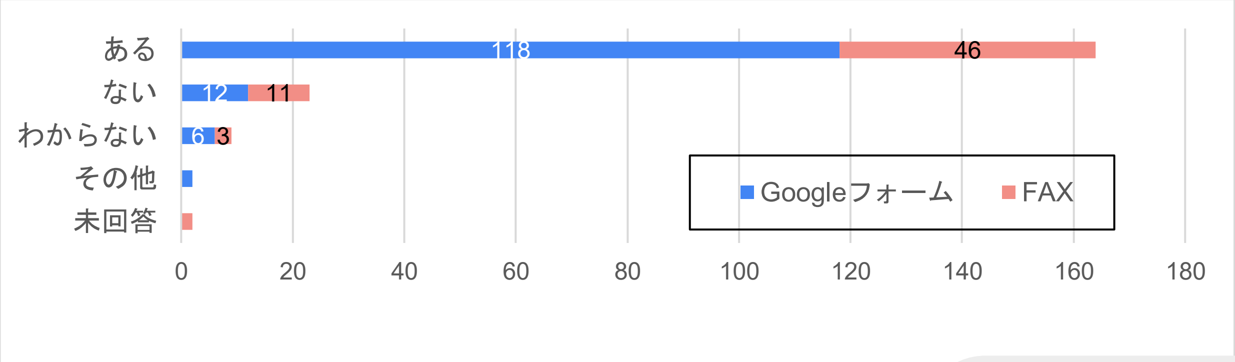


	Gフォーム	FAX	全体	%
①ある(事業所･通信制限あり)	4	3	7	3.5
②ある(事業所･通信無制限)	23	23	46	23.0
③ある(自宅･通信制限あり)	4	1	5	2.5
②と③	1	0	1	0.5
④ある(自宅･通信無制限)	17	4	21	10.5
①と④	3	1	4	2.0
②と④	74	20	94	47.0
③と④	1	1	2	1.0
①と③	2	0	2	1.0
④、研修をうける場所がない	1	0	1	0.5
④と 職場は不明	1	0	1	0.5
ない	2	5	7	3.5
わからない	5	1	6	3.0
未回答	0	3	3	1.5
計	138	62	200	

Q７．研修受講に使用できる周辺機器（カメラ・マイク・スピーカー）はありますか。

※パソコンに内蔵されている場合は「ある」と回答ください。

N=200

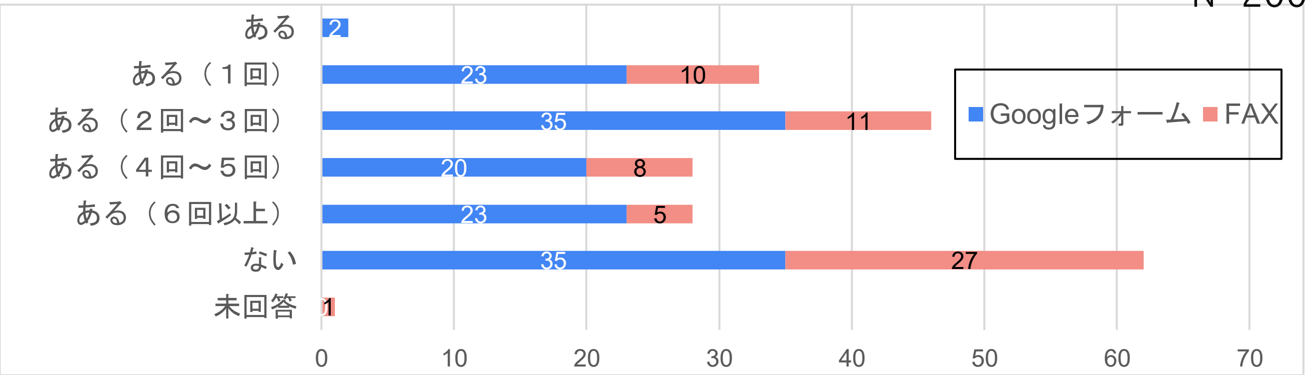


	G フォーム	FAX	全体	%
ある	118	46	164	82.0
ない	12	11	23	11.5
わからない	6	3	9	4.5
その他	2	0	2	1.0
未回答	0	2	2	1.0
計	138	62	200	

周辺機器については82%が**「ある」**と答えている。事業所、自宅でのWeb研修受講には、事前の学習が重要となることから、専用の部屋（個室環境）を確保できることが望ましい。

Q８．直近１年間でオンライン研修に参加したことはありますか。

N=200

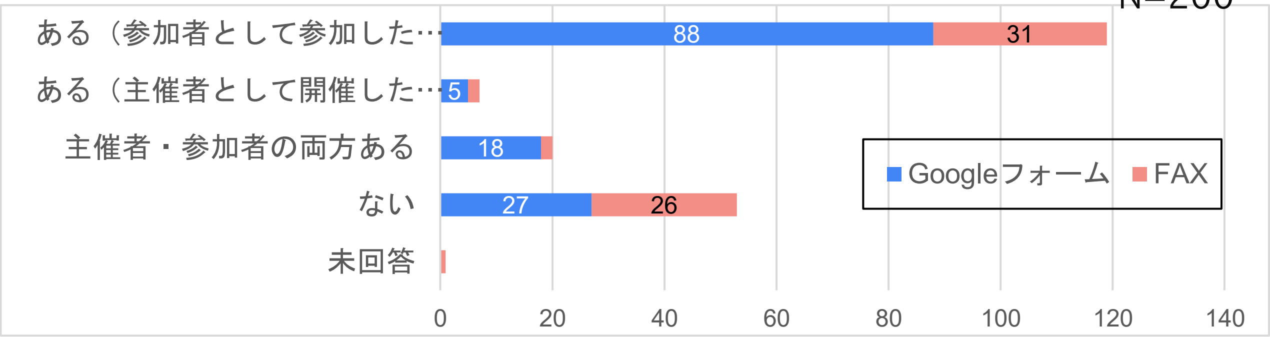


	G フォーム	FAX	全体	%
ある	2	0	2	1.0
ある(1回)	23	10	33	16.5
ある(2回～3回)	35	11	46	23.0
ある(4回～5回)	20	8	28	14.0
ある(6回以上)	23	5	28	14.0
ない	35	27	62	31.0
未回答	0	1	1	0.5
計	138	62	200	

「ない」との回答が31%であった。この中には参加「できない」、または参加「しない」という意味が含まれていると推察されるが、研修実施機関としても、参加しやすい研修環境等の整備を進めていく必要がある。

Q9. Zoomを利用したことがありますか。

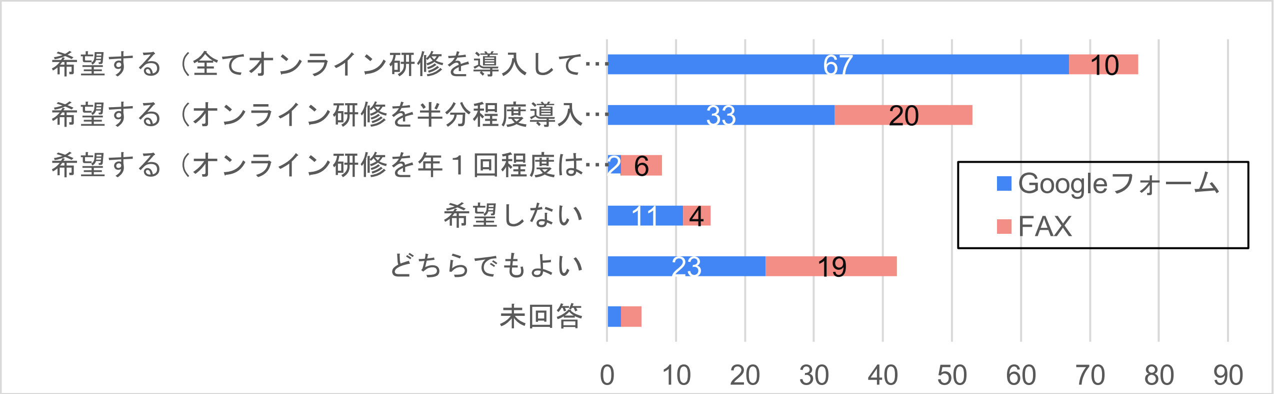
N=200



	Gフォーム	FAX	全体	%
ある(参加者として参加したことがある)	88	31	119	59.5
ある(主催者として開催したことがある)	5	2	7	3.5
主催者・参加者の両方ある	18	2	20	10.0
ない	27	26	53	26.5
未回答	0	1	1	0.5
計	138	62	200	

Q10. 今後、当会独自研修会等の実施についてオンラインでの開催を希望しますか。

N=200



	Gフォーム	FAX	全体	%
希望する(全てオンライン研修を導入してほしい)	67	10	77	38.5
希望する(オンライン研修を半分程度導入してほしい)	33	20	53	26.5
希望する(オンライン研修を年1回程度は導入してほしい)	2	6	8	4.0
希望しない	11	4	15	7.5
どちらでもよい	23	19	42	21.0
未回答	2	3	5	2.5
計	138	62	200	

Zoom の利用（Q9）については、主催者または、参加者での**経験者**は 63%であり、今後の研修（Q10）を**すべてオンラインでの開催**を希望したのは 38.5%であった。

オンラインでの開催を「希望しない」理由

《Google フォーム回答者》

1. パソコンの環境が不十分で近くにサポートしてくれる人がいないから。
2. やったことが無く自身がない。
3. オンライン環境に不慣れなため。
4. やり方がわからない。自信がない。
5. まだ使い方がわからず不安。
6. 仕事中はいろいろ用事が出てくる、集中できないと思う。
7. 自宅での接続に自信がない。
8. 知識を得たいならば、研修で無くても得る事は出来る。研修の良さは、周りの方と意見交換出来たり、休み時間などに、研修内容以外の情報交換や意見交換が、出来る事でオンラインでは難しい。
9. やはり、対面でないと身に入らないような気がする。
10. オンライン研修に魅力を感じない。 オンライン研修であれば、自身で独学する事に時間を使います。
11. パソコンはあっても場所がないことと、やり方に手間取ってしまいそうで不安が強い。

《FAX回答者》

1. ネット環境が整っておらず、自分自身もパソコンは使えてもオンライン研修に対応できる自信がない。
2. 使い方が分からず不安。
3. パソコンの扱いがよくわからないから。
4. オンラインに詳しくない。設定できない。

研修のオンライン開催を希望しない方の理由として、環境の不備、サポート体制がない、経験不足による不安等、が多くあがった。研修を進めていくためには、参加側、実施側の双方が共に環境作りを進めていく必要性を強く感じる。

その他、コロナ禍での対応について当会会員と共有したい内容、

当会へのご意見、ご要望等がございましたらご記入ください。

《Google フォーム回答者》

1. オンライン研修は、長時間集中するのが、とても大変だと思います。目の疲労がひどく、同一姿勢である事も、とても疲れます。短時間で効率よく出来ると良いのではないかと思います。
2. 千葉県のオンライン研修が少ないので、県外のオンライン研修に参加しています。今後、介護支援専門員更新研修や主マネ研修は、是非オンラインで実施して欲しいです。宜しくお願い致します。
3. いつもお世話になります。 研修参加について、私は鴨川から会場に向かいます。遠い会場へ足を運ぶ事が困難と思う事ありますが、その反面、出向き他の地域ケアマネとの交流、書籍販売等々魅力を感じる部分も多々あります。 先日地域の代表者連絡会に参加させて頂きました。 貴重なご意見が聞けてとても良かったです。 今後とも宜しくお願いいたします。
4. 安房地域は他地区に比べると、感染者が少ないため、感染者が多い地区へ行く事自体とても不安で、交通機関も電車は不便なため高速バスか自家用車のどちらかになってしまいます。通常は高速バスを利用する方が多いと思いますが、コロナ禍でバスに長い時間乗る事も心配です。私の知人で最近研修に毎回ご主人に運転してもらって行っているという方もいます。2、3 日の研修であれば何とか行けると思いますが、長い研修は web 研修が有難いです。
5. 終息のみえない状況下ですが、各地域の活動状況、情報交換、研修等を行いケアマネの質の向上を一層図っていける機会があればと思います。
6. 法定研修等の対応や情報が定まっていない為、今後の動向についてHP等で情報共有したい。

7. 集団指導もオンライン化出来たら有難い。大勢の人が集まるのは密だと思います。
8. 一宮町から千葉市まで遠い道のりを研修に参加するのは、仕事にも支障が出ますし、交通費もかかります。 リモート研修とても助かります。コロナが終息してもリモート研修して欲しいです。
9. 現在、事業所閉鎖(コロナは関係なし)に伴いケアマネの仕事には就いておりませんが勉強のために、参加できる研修には参加したいと思います。
10. アンケートのモニタリング訪問頻度ですが、令和 3 年 1 月からの緊急事態宣言が出てからの頻度が違っています。(令和 3 年 1 月は 3～4 割です)
11. コロナ禍の訪問は、可能な限り訪問なしにして欲しい。第 3 波では介護サービス事業所での感染がみじかで何件かあり訪問するリスク、自分が広げてしまうリスクを身を持って感じました。
12. これまで通り新しい情報をホームページに掲載して頂けたらと思います。
13. コロナ感染症が収束しても研修会場まで遠方のため Web 研修を継続してください。
14. コロナの濃厚接触者がスタッフに出たと言ってデイが休み、ヘルパー事業者が休み、家族に出たらサービス中止。誰が介護するのでしょうか。調整が大変です。 ワクチンは訪問介護の方々も、高齢者施設と同じにしてあげてほしい。そうでないとサービスがまわらなくなるのでは。コロナでなく、他の原因で亡くなる方が増えるのではないか心配です。
15. 研修会の再開を望みます。
16. 法定研修も ZOOM で受講したい。
17. 併設のサ高住で濃厚接触、発熱など仕事にならず、不安ばかりです。 居宅介護支援事業所だけなら、自宅でもできますが、ケアマネ業務に支障があり、取り残され感が強いです。 続ける自信がなくなります。こんな悩みを持つケアマネは、いないのでしょうか?
18. オンライン研修会の参加費は抑えて欲しい。会場費もすくなくなるのに今までと同じ金額は納得できません。
19. 在宅勤務の経験がある場合、会社との連絡の頻度や、仕事の報告内容はどの程度行っているのか、情報を持ち出すことへの対応方法について教えてもらいたい。 また、臨時的な取り扱いに沿って、利用者宅への訪問をしなくても良いと判断した内容(利用者の状態・状況)や、その期間(緊急事態宣言中のみ訪問しなかったとか、3か月に1回は行っている等あれば)について教えてもらいたい。
20. 研修は遠いためバス移動に不安あり。大人数集まることにもとても不安が大きい。提出物や自宅学習などでできる研修だと安心です。
21. 現時点でコロナ感染者もいないので訪問はしていました。独居で身寄りもいない方が感染した場合の対応に不安があります。施設側の思いも理解できますが、ショートステイの利用がかなり難しい。利用出来ないリスクが高い。
22. 最低限の資格研修がきちんと滞りなく受けられるようにお願いします。
23. コロナ禍では無くなっても研修はウェブでやって頂きたい。皆が参加できるよう工夫した研修に!
24. 感染拡大地域の実情やケアマネの動向について備える為にも色々教えて欲しいです。
25. 研修について、会場を分散する事も検討してほしいです。
26. コロナを必要以上に怖がり外出出来ない方への対応と、逆に不要の外出を繰り返す家族がいる場合、本人はデイサービスを続けても良いかどうか?悩みます。
27. 延期になっている法定研修を進めてほしい。
28. オンラインではない研修を希望します。
29. どこの研修でも限りある時間内なので、質疑応答があると理解が深まると思われますが、チャット等で可能になっていただきたく思います。
30. 更新研修もオンラインで実施して欲しい。
31. この際、会場での研修を要するライセンスは選考されなくなると思う。
32. コロナ禍の中ではオンライン研修はこれからも 定期にあったらいいと思います。時々はオンライン以外の研修も必要かとは思います。

33. 研修を受けに行くのも不安がありますが不慣れなことをやることも不安があります。
34. 本来であれば今年度中に初回の更新研修を受けるはずでした。いつ受講できるか？とても不安に思っていた中、自身に病気が見つかり継続した治療が必要になりました。ぜひオンラインを活用して頂きたいです。オンライン主となれば治療と並行して研修受講が可能になるかもしれません。研修が受けられなくて資格失効してしまったら、再研修を受ける気力がなくなってしまいそうな気がします。 また、自身の病気とは別に、感染症の状況がどうなるか不透明な中、千葉県全域から一つの会場に人を集めるのはどうなのか？と思っていました。また、感染症の問題だけでなく、会場まで遠方の場合は前日宿泊したり、早朝に自宅を出たりしなければならない人もいるので、そういう方がいることにも配慮してほしいです。ただでさえ、研修に大金がかかるのに、会場までの交通費等に費用が掛かるのは経済的にとても負担です。現状の研修を、日常の業務をしながら5年ごとに繰り返さなければならないと思うと、今後この仕事を継続することについて考えてしまうときがあります。
35. ICT を活用したモニタリング訪問を行っている事業所では自宅利用者とどのように行っていますか？今後の参考にさせて頂きたいので宜しくお願い致します。
36. オンライン研修でのグループワークをやってみたいです。
37. オンライン研修がもっと早めに、出来ていたら、更新研修に必要な研修の条件がクリアできたかと思うと残念です。
38. Q10 の研修会等の実施ですが、会場での LIVE とオンライン（どっちかでの参加を受講者が選べる）ハイブリット型研修の開催もご検討、選択肢に加えて頂きたいと思いました。
39. 身近にできる衛生管理の徹底
40. モニタリング時の捺印は支援経過に記載し(感染予防・印鑑の手渡し等)今回省略していますが、官公庁のすすめている印鑑廃止との解釈は別で、今後コロナが落ち着いてもモニタリングの印鑑は必要かどうか、、、、印鑑をもらわなくても確認できる良い方法を厚労省が決めて通知が出るんですかね？あいまいですよね。
41. ZOOM の扱い方について、市主催の研修等で、私は受けることができましたが、協議会での研修会も引き続き随時開催して頂ければ、他の慣れていない CM さんも苦手意識が薄らいでいくのではないでしょうか。 これから、担会やモニタリング等 web を使うことが予想されます。CM は女性が多く、苦手な方が多いと思うので、実務に役立つ研修の開催をお願いしたいです。
42. 問 10 に関して「オンラインでの研修」参加者の選択でオンラインか参集か選択出来るというのがあると助かります。

《FAX回答者》

1. オンライン研修に参加出来ない環境にある場合で参加できない場合、研修内容の資料を発行して欲しい。
2. 会場費など節約し研修費を抑えてほしい。交通費の節約にもなる。
3. ケアマネ資格更新研修会をなんとかしてほしい。
4. オンライン、Zoom、よくわかりません。どうすれば利用できるでしょうか？
5. 更新研修ができず困っている。令和 4 年 4 月に切れるが、特例の期間に該当しません。令和 2 年度の研修も終わっていないのに、このままでは研修できない不安が募っている。
6. いつもお世話になっています。パソコンが苦手なので添付書等の方法が分かりませんので、今後少しずつ勉強していきたいと思いますのでよろしくお願いします。
7. 研修会場に参加出来なかった場合のアーカイブ配信はとても良い方法です。情報が受け取れない場合もあります。(土曜日も勤務があり電話が来ると対応する必要があるため助かります)
8. 研修はグループワークを行う際、離れていても近くにいかないと聞き取りづらかった。正直怖いと思いました。
9. コロナ禍で千葉市等の移動は控える様な状況です。各種資格試験、あきらめて延期(来年の試験ま

で)にしている介護職員多いです。何か良い方法はないでしょうか。
10.研修を受けるための静かな部屋がない。
11.コロナ禍での対応の具体的等指示が欲しい。
12.研修ネット申し込みがエラーになって申し込めない事があった。アドレスがエラーだったが、なんでエラーなのか詳しくないのでわからなかった。
13.コロナ感染症が収束しても研修会場まで遠方のため Web 研修を継続してください。
14.いつまで続くか分からないこの状況で、主任ケアマネの更新もどうしたらいいのか分からず。研修も行けてないのでどうなるのか不安な日々です。更新しない人もいるので。
15.感染者が多数出ている地域ではどのように対応を実際に行い、業務を行っていたのか?状況を教えて欲しい。
16.研修は遠いためバス移動に不安あり、大人数集まる事もとても不安が大きい。提出物や自宅学習などでできる研修だと安心。
17.オンライン環境が整っていない人は参加することができない。コロナ禍において会場での研修が難しい状況も承知ですが、すぐに環境を整えられるものでもないと思うので、その場合の配慮もしていただきたいと思う。
18.共有したいことが思い浮かばないが他ケアマネの動きが分かると安心材料かも。
19.本人・家族とは対面せず郵便受け等に利用表は届けた。電話にてモニタリング。
20.オンライン研修、パソコン１台で複数人が受講してよいでしょうか。
21.Q10.の理由:研修内容にもよるが、体調不良時、感染症流行時、物理的に会場に足を運べない時でも参加できる可能性が広がるため。
22.人数を制限しての研修を企画して欲しい。
23.いろいろな困難事例についての解決への社会的援助の具体例を学びたい。また、後見人選択と支援内容具体例を知りたい。

≪お礼≫
貴重なご意見を多くいただきありがとうございました。

コロナ禍は先が見えず、利用者も支援者も苦悩している現在、利用者への対応が、人と人のかかわりから離れないようにしていく事も大切だと思います。
今回の結果を踏まえ、当会事業における各委員会活動にも反映し、検討を重ねていこうと考えます。
今後とも一人ひとりの会員の皆様が安心して研修参加等ができる様、努力していきたいと思います。